

全国 YMCA コースチャレンジプログラム 2020 報告書 「トライスタディールーム」

宇都宮市青少年活動センター（とちぎ YMCA）

1. プロジェクト概要と実施内容

【プログラム概要】

本プログラム「トライスタディールーム」はとちぎ YMCA が指定管理を行う、宇都宮市青少年活動センター(トライ東)において青少年の〈1. 学習定着と理解の向上〉〈2. 精神的拠り所としての居場所(環境)づくり〉〈3. 社会的能力の向上〉を目的とした学習支援プログラムである。2021年3月10日(水)からスタートし、2021年度から定例の活動として、週に1回実施していく。



支援を受ける対象は宇都宮市内に在住する小・中学生である。従来の学習支援(塾など)とは異なり、YMCAの高校生・大学生リーダーが子どもたちと関わるので「教える」という認識ではなく、「一緒に問題を解く」「子どもたちとは違った視点で学ぶ」という意識で支援をしている。

【実施内容】

○自習

自習形式の学習によってリーダーが子どもたちを支援する。教材は子どもたちが持ち寄る宿題やテスト勉強などを使用する。個々のニーズに応じた支援を行うために、子ども・リーダーそれぞれが少人数で関わっている。



○居場所活動（リーダーとの交流）



プログラムに参加する子どもたちの中には、学習支援を受けていく中でリーダーの「ファン」になり、リーダーに会いにトライスタディールームに来る子どもも見受けられるようになった。そのような子ども達のニーズに応えるために、YMCAリーダーのノウハウ(子どもとの関わり)を活かした「居場所」としての活動を展開している。

○活動評価会

子どもたちが退室した後、リーダー達による活動評価会を行っている。「どんな声かけをしたか」「子ども達の様子はどうだったか」「成長はみられたか」さまざまな声がリーダーから挙がり、よりよいプログラムを作ろうとしている。



○特別プログラム ※2021年5月から実施予定

今後、現在のプログラム運営に順応した後に開催を計画している企画。支援するリーダーが自ら学習プログラムの内容を計画して、子どもに提供できる体制を作っていく。

例：運動が得意なリーダー…体育プログラム

音楽 〃 …ピアノ教室

美術 〃 …お絵かき教室



活動場所の宇都宮市青少年活動センターは、音楽室や調理室、体育館など多くの目的に応じた設備があり、そのような施設の特性を活かした多様なプログラム作りをする。

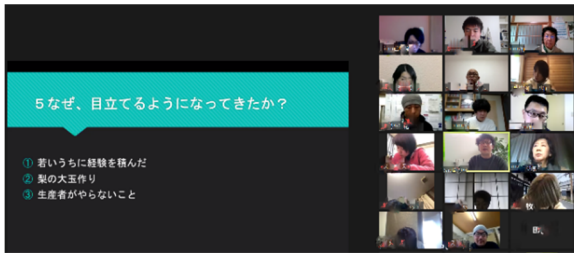
2. このプロジェクトを通じて考えたこと

自分ひとりでは、プログラムを作ることはできない

2020年11月、とちぎYMCAの学生インターンとして、このトライスタディールーム事業を計画してみないか？と、YMCAスタッフの方から提案された。教職の勉強はしていたが、学習支援とプログラムのマネジメントについては知識不足で、何をどのように進めていけば良いか分からない中でのスタートだった。そんな中で、私が意識したことは「学ぶ＝真似ぶ」ということ。とちぎYMCA内の他プログラムや、YMCA外の他団体にも事業を作るうえで必要なことを学び、取り入れてきた。

とちぎYMCA「アットホームきよはら(子どもの居場所)」訪問→





↑ 地域づくりスキルアップ講座(栃木県主催)

教えを受けて相手との関係を終わりにするのではなく、その後も関わりネットワーク(つながり)を持ち続けることで、壁にぶつかった時に悩みを共有し、互いの長所を活かした助け合いができる。

・企画者は、「常に未来をみている」

事業の中身がある程度まとまり、支えてもらうリーダー(ボランティア)を集める時に明確なビジョン(未来)を提示する必要がある。「何のためにこの企画をスタートするのか」「それによって未来では誰が喜んでいるのか」自分が思い描いていることを、相手に伝えることは非常に難しく苦勞をしたが、活動を重ねていく中でリーダー達が想いを受け継ぎ、さらに自身の中で課題をもって取り組んでいる姿がとても印象に残った。

プログラムに人を巻き込み、ともに作り上げていく時には、はじめは周りの人が迷わないように企画者が土台をつくり、常に未来を見据えていく必要があると感じた。

SDGs × YMCA	
ビジョン (組織の目指す社会の状態)	すべての人が、等しく学べる機会をつくる
ミッション (ビジョンの実現に向けた組織の社会的な役割)	青少年育成
事業	無料学習支援事業
バリュー (組織として大事にしたい価値観やあり方)	したい何かが見つかり、誰かとつながる。 私が高くなる、かけがえない場所。

3. 今後、ユースチャレンジを希望する人へのアドバイス

ユースチャレンジは私にとって YMCA の「み つながる よくなっていく」そのものだった。助成金がもらえる！という「結果」に興味が行きがちだが、その裏にあるたくさんの人々との出会い・繋がり、新しい価値観、そしてその先にあるすべての関わりへの幸福。そんな「成果」の部分の部分が私にとって、とても大きな財産になった。YMCA は、「何かをはじめたい！」「チャレンジしたい！」「やってみたい！」そんな気持ちをもつユースを応援し、支えてくれる最高の場所だと思う。この報告書をご覧になった方々にも、ユースチャレンジを通して素敵な社会を作っていただきたい。

